



米国におけるオンライン・リサーチ — “きのう”、“きょう”そして“あした” —

"Online Research in the U.S. – Yesterday, Today, and Tomorrow"–

会期・会場

日 時 : 2010年9月21日(火) 13:30~17:00
 会 場 : ハイアットリージェンシー 東京(新宿) 地下1階 平安
 東京都新宿区西新宿2-7-2 TEL 03(3348)1234
 講 師 : ミック・クーパー教授 (Professor Mick P. Couper)
 ミシガン大学, 社会調査研究所 (ISR)・調査研究センター (SRC)
 オーガナイザー JMRA 研修委員会、大隅 昇 (統計数理研究所)
 定 員 : 100名

* 講演は英語で行われますが、同時通訳がございます。
 * 参加者の皆様から事前に質問を受け付けます。

プログラム

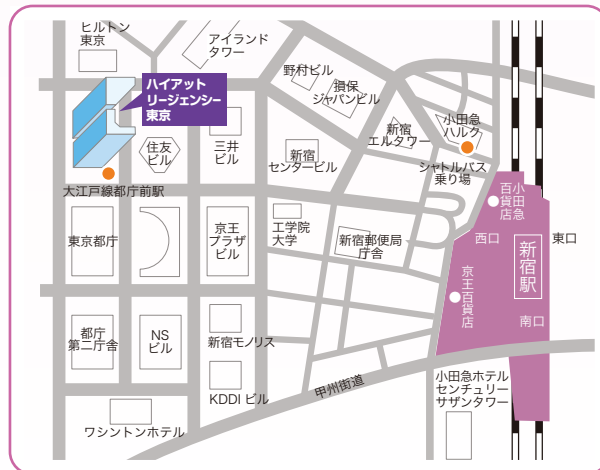
時間	内 容
13:30 - 13:40	講師紹介 (大隅 昇 教授)
13:40 - 15:55	米国におけるオンライン・リサーチ — “きのう”、“きょう”そして“あした” — “Online Research in the U.S. –Yesterday, Today, and Tomorrow – 講師：ミック・クーパー教授 (Professor Mick P. Couper)
15:55 - 16:10	休憩
16:10 - 17:00	質疑応答 ※この時間を有効活用するため、参加者の皆様から“事前にご質問を受け付け”ます。 いただいたご質問は分類・整理させていただき、当日可能な限り回答させていただきます。 なおご質問はのご案内の最終ページにあります「質問記入シート」にご記入のうえ9月10日(金)までにお送りください。

会 場

ハイアットリージェンシー 東京
 地下1階「平安」

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 2-7-2
 (代表) : 03 (3348) 1234
<http://www.hyattregencytokyo.com>

J R 新宿駅西口より徒歩約9分
 地下鉄 大江戸線 都庁前駅 C4 出口に直結
 丸ノ内線 西新宿駅より徒歩約4分



参加のすすめ

◆◆◆ セミナーの趣旨

日本国内と同様に、欧米諸国におけるオンライン調査の市場調査分野における普及・利用はあらためて指摘するまでもありません。とくに、米国ではオンライン調査を巡る実用・理論両面からの諸研究が着実に進み、多数の研究成果が報告されまた実用化されております。

このたび、この分野で精力的に研究を進めてこられたクーパー教授を迎え、米国におけるオンライン調査事情をご紹介いただくことになりました。クーパー教授は、2003年にも本協会で『インターネット調査とそれを巡る諸調査法の可能性』の演題でご講演いただき当時の貴重な情報をご提供いただきました。

周知のように、調査環境の大きな変化のなかで市場調査におけるオンライン調査の役割が増す一方、調査技法の技術進歩のテンポも次第に早くなり、今後を適確に見通すことが重要となっております。このような時期に、オンライン調査研究で先導的な役割を果たしてきたクーパー教授から、米国の最新事情をご紹介いただくことは、きわめて時宜をえたことと考えます。

今回は、過去における問題点は何であったかをふりかえり、さらにここ数年の間に起きている新たな現象は何か、問題解決のために関係者は新たに何を試みようとしているのか、最新事情や今後の動向は何かをご紹介いただきます。

なお講演時間を有効に活用するため、一つの試みとして、参加者の皆様から事前にご質問をいただき、これを分類・整理のうえ、当日これらご質問に講演者からご回答をいただく、という方式を考えております。

調査分野、実査現場の最前線で活躍されてきた皆様にこうした貴重な機会をご提供し理解を共有できることはまことに喜ばしい限りです。オンライン調査・ウェブ調査や市場調査関係者、マーケティングご担当部門や広告代理店の方々、さらには関連研究者諸氏のご参加を心よりお待ちしております。

なお、以下にクーパー教授からいただいております演題内容の要旨を抜粋しお知らせいたします。

◆◆◆ 講演の要旨

2003年にJMRAでのトークの機会を得ましたが、今回はその後の米国におけるオンライン・リサーチの近況をご紹介します。米国ではオプトイン・パネルが市場調査分野の主流を占めるようになりましたが、これを巡るさまざまな懸念がありこれを解決するために、独自のデータ収集方式や他の調査方式との組み合わせを工夫した、企業や組織の調査に適したオンライン調査の研究が慎重に行われてきました。

市場に広く普及したことで、オプトイン・パネルの抱えるさまざまな現象や問題の所在が次第に明らかになり、また少ない回答者しか得られない無数の登録パネル、多種多様な調査が増えたことで、米国市場は次第に飽和に近づき回収率は急速に低下の一途にあるのが現状です。不適切な“好ましくない”回答者に起因する調査データ品質劣化への懸念も生じております。また多くのパネル比較研究から調査結果の変動が大きいことが見えてきて、結果の不安定性に対するクライアントの危惧も聞かれるようになりました。

こうしたことを受けて、注目すべき活動がいくつかみられます。たとえば最近、以下のような興味ある報告があります。

- 米国広告調査財団（ARF）による比較実験調査（複数のオンライン・パネルと電話・郵送調査の大規模な比較実験調査による検証）
- 米国世論調査協会（AAPOR）による「オンライン・パネルに関する特別委員会報告」の開示（オンライン・パネルの現状俯瞰、特性を調査誤差の観点から考察）

さらに、いわゆる“ボランティア・パネル”が今後も利用可能かどうかに関心が高まりつつあるなかで、たとえば以下のようなさまざまな試みがなされております。

- 取得データの品質改善方法の検証（調査データの品質をどう改善するか）
- “リバー・サンプリング”のような代替法の検討（DMS Insights 社が提唱する劣化の少ないとされるオンライン・パネルの考え方ほか）
- ソーシャル・メディア測定基準の利用
- 目的に応じたパネルの専用化（汎用的とは異なる専用パネルの開発）

こうしたオンライン調査の品質評価や推論にかかわる最新の取り組みについて概説します。

さらに、米国におけるこの分野の将来動向と、オンライン調査がさまざまな調査研究領域（市場調査、世論調査、官庁調査や学術調査研究）ではたす役割について展望します。今後、オンライン調査は他のデータ収集方式に代替するというよりもむしろ“補完するもの”となるとの認識が高まりつつあります。別の動向として、“混合方式”（複数の異なる調査方式を調査実施過程の状況に応じて使い分けること）の適用、ソーシャル・メディア測定基準や伝統的な調査測定法の補完あるいは代替となる別の測定法、それにモバイル・コンピューティング（多機能携帯電話、iPad など）や他の新たな技術（QR コード、RFID など）が提供する可能性への関心が高まりつつあること、こうしたことについてもご紹介いたします。

<クーパー教授の紹介>

クーパー教授は、現在、ミシガン大学の社会調査研究所（ISR：Institute for Social Research）および調査研究センター（SRC：Survey Research Center）の教授を務められております。この他、欧米の諸機関、大学等と共同で調査方法論研究を進めてこられました。なお ISR、SRC はミシガン大学に4つある調査研究機構のうちの2つで、米国における代表的な調査研究機関として知られております。クーパー教授の研究履歴・活動については以下を参照：

<http://www.psc.isr.umich.edu/pubs/select.html?ID=472>（略歴もここから参照可能）

<オーガナイザー 紹介>

大隅 昇：情報・システム研究機構・統計数理研究所名誉教授、理学博士、専門社会調査士。

オーガナイザーの研究履歴・活動は以下を参照：

<http://jglobal.jst.go.jp/search.php?q=大隅昇> 及び <http://wordminer.comquest.co.jp>

参加費・支払方法

JMRA 会員社（者）	1名	23,000円	+	消費税	=	24,150円
一般	1名	28,000円	+	消費税	=	29,400円

上記の他、学生割引価格を設定しております。学生の方はご連絡ください。

- 銀行振込：三菱東京 UFJ 銀行 飯田橋支店（普通）4669542
みずほ銀行 飯田橋支店（普通）660769

（振込手数料は差し引かずをお願いいたします）

- お 願 い： 参加費の払い戻しはいたしませんので、ご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。
また、当日録音機器等の持ち込みは、固くお断りいたします。
なお、参加費は9月17日（金）までにお支払ください。

申込方法

JMRA ホームページ (<http://www.jmra-net.or.jp/seminar/>) からお申し込みください。
FAX でもお申し込みいただけます。下記の申込書にご記入の上、ご送付ください。

個人情報の取扱いについて

社団法人日本マーケティング・リサーチ協会（以下 JMRA）は、会員および非会員の方々の個人情報を保有しております。保有内容は、氏名、会社名、住所、部署・役職名、電話番号、FAX 番号、E メールアドレスです。この個人情報は、JMRA の各種イベント、各種講座・会合へのご案内、書籍等の販売、その他関連情報などをお知らせする書面、E メール、FAX 等でのご連絡以外には、使用しておりません。

つきましては、JMRA からの上記各情報のお受け取りをご希望されない場合は、お手数ですが、書面、FAX 等で、その旨を右記事務局までお知らせください。お知らせがない場合は、あなた様の個人情報は「JMRA において使用されることに同意した」とさせていただきます。

申込先／個人情報の訂正・追加・削除の連絡先

社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会
〒101-0044
東京都千代田区鍛冶町 1-9-9
石川L Kビル 2階
FAX : 03(3256)3105

----- き り と り -----



社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会主催

《第41回 JMRA トピックスセミナー参加申込書》

1. JMRA 正会員 2. JMRA 賛助法人会員 3. JMRA 賛助個人会員 4. 一般

会社名 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

お名前	役職名 (部・課名)	E-mail	登録の	
			可 (※1)	否 (※2)
			可	否
			可	否

※上記登録の可否をいずれかに、○印をお願いします。

※1 参加申込書に記入された個人情報は、JMRA の各種イベント、各種講座・会合のご案内、書籍等の販売、その他の関連情報等をお知らせする書面、E メール、電話、FAX 等の連絡に使用することを同意いたします。

※2 今回のセミナーにおける参加確認以外に使用する事には同意しません。

FAX 03-3256-3105
WEBからのお申込みは <http://www.jmra-net.or.jp/seminar/>
お問合せは TEL: 03-3256-3101

ご質問記入シート（以下に、簡潔に列記してください） ※9月10日(金)までにお送りください。

① _____

② _____

③ _____



社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会